

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	日本語表現法応用Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	位田 絵美						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の特性を正しく理解し、使うことができる。</li> <li>・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。</li> <li>・ビジネス敬語を正しく使うことができる。</li> <li>・論理的な表現とは何かを理解し、記述できる。</li> <li>・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を修得する。</li> </ul>						
日程と内容	第1回：講義概要および履修心得・学習方法 第2回：書き言葉の技能 応用 要旨 第3回：書き言葉の技能 応用 要約 その1 第4回：書き言葉の技能 応用 要約 その2 第5回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その1 第6回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その2 第7回：書き言葉の技能 発展 論証 その1 第8回：書き言葉の技能 発展 論証 その2 第9回：話し言葉の技能 基礎 敬語 1 第10回：話し言葉の技能 基礎 敬語 2 第11回：話し言葉の技能 基礎 敬語 3 第12回：話し言葉の技能 応用 相手を考えて話す 第13回：総合応用 1 第14回：総合応用 2 第15回：まとめ 定期試験						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	50%		100%			
授業到達目標の達成度	合格率78%を実現でき、到達目標は十分に達成できたと考えます。						
反省点	特になし。						
来年度の計画	授業中に行う演習のバリエーションを増やし、より充実した内容にして行きたいと思います。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容に対して高い評価をいただき、大変嬉しく思います。今後とも、積極的に学生諸君が授業に参加する演習形式の授業を追及してゆきます。小テストの解答回収時にカンニングする学生がいるとの指摘がありましたが、不正行為を行う学生に対しては厳しく対処し、成績は常に公平性を保ち、誠実に努力をする学生に高い評価を出しております。また、テストの解答時間が短いという意見もありましたが、試験には正確さとともに解答のスピードも求められます。授業時に常に「正確さと速度」を求める演習を積んでおり、大多数の学生はその制限時間内で十分な解答ができています。時間が足りないという学生には、もう少し努力して欲しいと思います。						
履修登録者数	114名	定期試験 受験者数	108名	合格者数	84名	合格率	78%